

北京パラリンピック・男子スノーボード出場 田淵伸司選手(本市在住)の競技日程・市の応援活動など

1月12日、日本障害者スキー連盟が、北京2022パラリンピック競技大会（以下「北京2022大会」という。）日本代表に本市在住の田淵伸司選手を推薦決定したことをお知らせしていた。

2月8日、日本パラリンピック委員会が、日本選手団に正式決定したことを発表したの
で出場競技、日程および市としての応援活動などについてお知らせする。

1 プロフィール

- (1) 選手名 田淵 伸司(たぶち しんじ)
- (2) 生年月日 1981年12月7日生まれ(40歳)
- (3) 出身地 兵庫県たつの市
- (4) 所属 兵庫県立和田山特別支援学校



2004年に仕事の関係で豊岡市へ。その時からスノーボードを始め、3年後インストラクターとして「かなべスノーボードスクール」に所属。その年の夏場の練習中に両大腿骨を骨折。右足に脛腓骨神経麻痺の後遺症を伴い、身体障害者となる。その後も活動を続け、日本障害者スキー連盟の強化指定選手として国内外の大会で多くの実績を残す。

2 出場競技・日程

- (1) 出場競技 男子スノーボード(クラス:SB-LL2 ※1)
- (2) 競技日程 3月6日(日)スノーボードクロス ※2(予選)
3月7日(月)スノーボードクロス (決勝)
3月11日(金)バンクドスラローム ※3(予選)
3月12日(土)バンクドスラローム (決勝)

3 周知活動

(1) 懸垂幕の掲示

設置場所 豊岡市役所本庁舎・日高振興局

掲示期間 3月31日(木)まで

(2) 市広報媒体による周知

広報やホームページ、公式フェイスブックページ「とよおかスポーツなび」などに田淵選手の北京2022大会出場決定や選手紹介記事を掲載

4 応援活動

田淵選手への応援・激励メッセージ(田淵選手と同僚や教え子、市の特別職など)
入り国旗の贈呈

※日本障害者スキー連盟が、新型コロナウイルス感染症予防対策として選手に記者等への接触を禁止しているため、2月24日に田淵選手が市長室を訪問した際に贈呈した。

【応援・激励メッセージ入り国旗贈呈時の市長及び田淵選手のコメント】

関貫市長

先のオリンピックでも本番でいろいろなアクシデントがありましたが、アクシデントがなく、日ごろの力が発揮できるように願っています。

田淵選手

日本代表としてパラリンピックに参加しますが、そんな大きなものを背負うほどの人間ではありません。せめて、但馬、兵庫県を背負って大会に望んでいけたらと思っています。



応援・激励メッセージ入りの国旗を手に持ち記念撮影する田淵選手(左)と市長

5 その他

(1) 競技当日の応援

市内においても新型コロナウイルス感染症が未だ感染拡大の傾向にあるため、パブリックビューイング等の予定はない。

(2) 報告会の開催

帰国後、出場競技についての報告会を予定

《注 釈》

※1 SB-LL2

- ・片側下半身もしくは両下肢の協調性に軽度の障害
- ・両足と足首の動きに中度の障害がある
- ・片下肢の膝から下が欠損している
- ・片下肢に中度の障害がある(田淵選手該当)

※2 スノーボードクロス

バンク（コーナー）やウェーブ（波打った雪面）、キッカー（ジャンプ台）が設置されたコースを使用し、予選では1人で2回滑り、その速い方のタイムによる順位で決勝の組み合わせを決定する。決勝ラウンドでは1対1でレースを行い着順により順位を競う。

※3 バンクドスラローム

バンク（コーナー）と呼ばれる傾斜の付いたコーナーが設けられたコースを選手が1人で3回滑走し、その中の最も速いタイムで順位を競う。

クラス	障がい・状態	障がいの程度
SB-UL	上肢障がい	
SB-LL1	下肢障がい	重度
SB-LL2		軽度



〔問合せ〕豊岡市地域コミュニティ振興部スポーツ振興課 Tel 0796-21-9023